Window 10 をクリーンインストールする方法

Windows 10 をインストールするには Windows 7 または Windows 8 搭載のパソコンを無料アップグレードする方法が一般的です。

しかし、特に Windows 7 からのアップグレードですとインストールされているアプリケーションの中には Windows 10 未対応のプログラムが含まれている場合があります。
この時アプリケーションが未対応であると認識されると勝手に削除されたりして、OS 自体の安定性が損なわれる場合があります。

そこで、Windows10 だけがインストールされた状態を作るためにはクリーンインストールを行った方がスッキリしますので、その方法を次にあげておきます。

今のところ、Windows 10 のパソコンを手に入れるには、新品の Windows 10 搭載機を購入するか、Windows7 か windows 8 搭載機を無料アップグレードで Windows 10 にするほかに方法はありません。

そこで、一度アップグレードしたパソコンをマイクロソフトのホームページにある Windows 10 セットアッププログラムをダウンロードしてクリーンインストールする方法を使います。

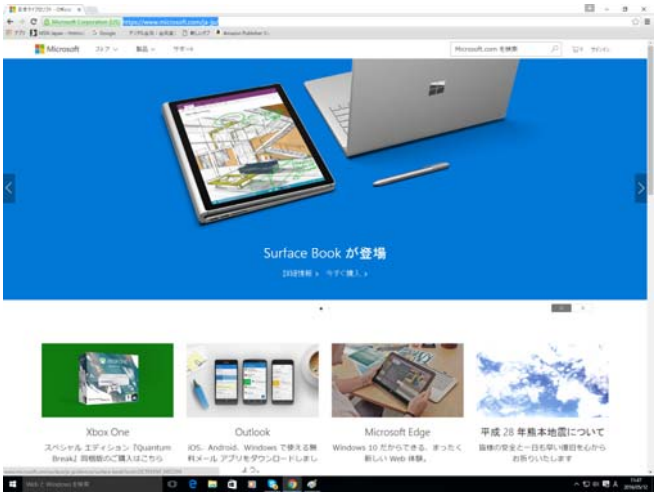
単純にこのプログラムでクリーンインストールを行うとプロダクトキーを入力しなければなりません。しかし、通常では OS のプロダクトキーを知る方法がありませんのでこの方法で行うことができるのは、プロダクトキーの記載のある一部のパソコンだけです。

そこで先に無料アップグレードを行ったパソコンでクリーンインストールを行うと、プロダクトキー入力画面にある「後で」ボタンを使うことで自動でプロダクトキーを引き継いでくれます。

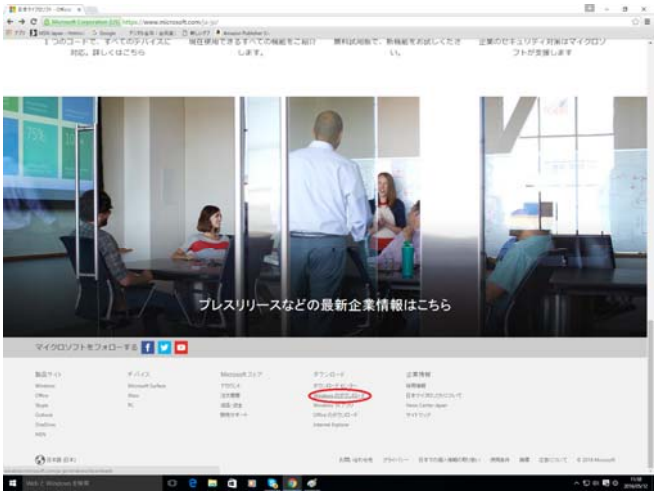
それでは、セットアップ用の DVD 作成の方法を次ページから説明します。

Windows 10 セットアップ DVD の作り方

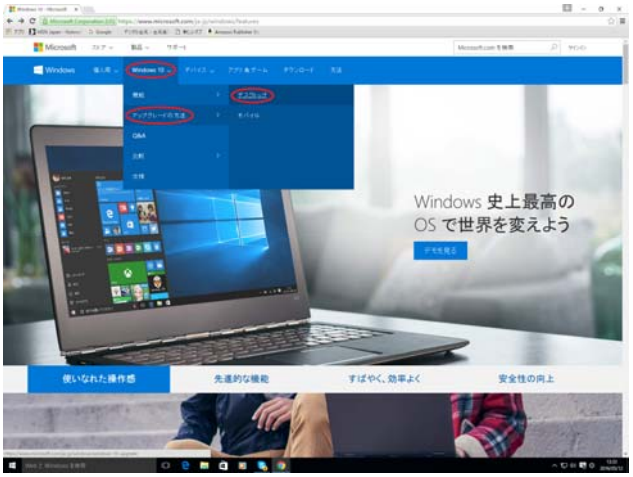
Microsoft のホームページで（https://www.microsoft.com/ja-jp/ ）を表示する。



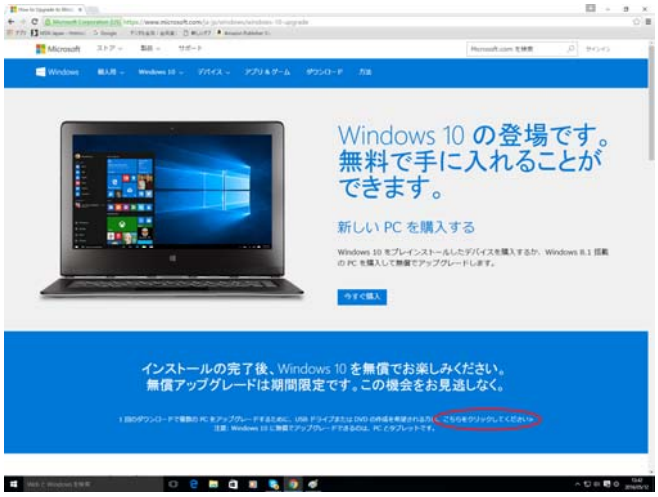
ページの一番下の方の「Windows のダウンロード」をクリックする。



上部の「windows 10」をクリックして「アップグレードの方法」→「ディスクトップ」をクリックする



画面下部の「1 回のダウンロードで複数の PC をアップグレードするために・・・・・」の文章中にある「こちらをクリックしてください」をクリックする。



「ツールを今すぐダウンロード」をクリックして「MediaCreationTool.exe」をダウンロードする。

ダウンロードが完了したら、「メディア作成ツールの使用」から「USB または DVD を使ってクリーンインストールを実行する」の欄をクリックして表示される方法にてクリーンインストールを実行してください。

大体の流れは次のようです。

「MediaCreationTool.exe」を実行して、表示されるメニューの中から「他の PC 用にインストールメディアを作る」を選び、「言語」・エディション・64 ビットか 32 ビットを選択すれば、インストールメディアが出来上がります。

Windows 10 セットアップ DVD を使ったクリーンインストールの方法

1. パソコンを DVD から立ち上げる（富士通パソコンの場合は起動時に F12 を連打して現れるメニューの中から DVD を選択してエンターキーを押せばよい）
2. プロダクトキーの入力を求められるので「スキップ」をクリックする。
3. 要件に「同意します」にチェックを入れて「次へ」をクリックする。
4. 「カスタム：Windows のみをインストールする」を選ぶ
5. C:ドライブを選んで「次へ」をクリックする
   この場合 HDD に複数のパーテーションが存在するとどれが C:にあたるのかが分からないので容量で判断してください。
6. プロダクトキーの入力画面が表示されますので「後で」ボタンをクリックしてください。
7. 「簡単設定を使う」をクリックする。
8. 「私が所有します」を選んで「次へ」をクリックする。
9. 自分用にセットアップするの画面では「この手順をスキップする」を選んで必要なら後で設定します。
10. この PC を使うのはだれ？の画面ではユーザー名とパスワードの登録を行ってください。

Windows10 のセットアップディスクについては次々とバージョンが発表されているのでその都度方法が変わる場合があります。
Microsoft のホームページ等を参考にして行ってください。

注意事項）
今回の Windows 10 正規版の無料アップグレードは 1 年間だけの期間制限があります。これは、1 年以内にアップグレードすればその後は何年使っても良いという事のようですが、どうも CPU や HDD のような主要部品が変更された場合はサポート範囲外という事で認証が取れなくなってしまうようです。
現時点でマイクロソフトからの公式発表がないのでハッキリしないのですが、現実に起こる問題として、ハードディスクが故障した場合認証はできないという事のようです。